NewsLetterFrom∑ARIS

留学生相談室（基礎工学研究科/基礎工学部）
∑Advising Room for International students

issue #1
May 2022

ARIS

基礎工学部留学生相談室は、留学生が直面する諸問題の解決に協力し、留学生活をより充実したものにするために1994年に設置されました。相談業務に加えて、国際交流(異文化融合)の場として活用されており、留学生だけでなく、外国人研究者や日本人学生も利用可能であるため、談話室的で明るくカジュアルな雰囲気を目指しています。

THE ADVISING ROOM FOR INTERNATIONAL STUDENTS OF THE SCHOOL OF ENGINEERING SCIENCE was established in 1994 to help international students solve various problems they face and make their study abroad life more fulfilling. In addition to consultation services, this room is used as a place for international exchange (cross-cultural fusion), and is open not only for international students but also for foreign researchers and Japanese students.

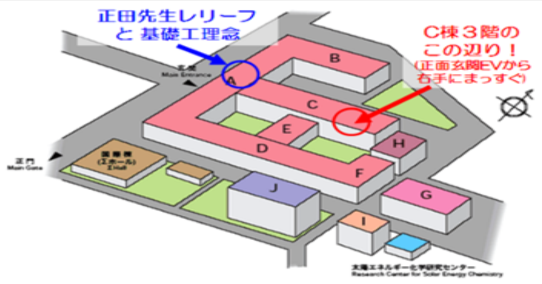
CONTENTS

1. ARIS News (2021)｜留学生相談室ニュース（2021年度）
2. ARIS managers｜担当教員の変更
3. Our coordinators｜English /Japanese hourとコーディネーターの紹介
4. Studying abroad｜留学体験談
5. Tourism in Japan｜留学生の旅のおすすめ
6. International students in "Kisoko"｜留学生数

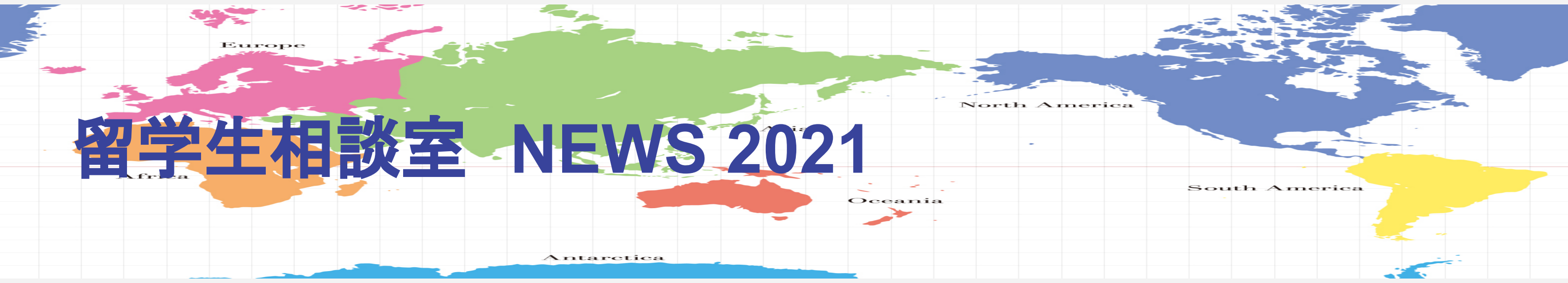
大阪大学　基礎工学研究科・基礎工学部　留学生相談室
Advising Room for International Students of the School of Engineering Science

e-mail: aris@ad.es.osaka-u.ac.jp
TEL: 06-6850-6424

https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/department/facility/international-student-counseling-room/



エレベータで
3Fに上がってすぐ!



留学生相談室 NEWS 2021

留学生チューターガイダンス　2021年9月28日 ＆ 4月23日
留学生チューターミーティング　2021年6月28日 ＆ 11月25日

4月・10月入学の留学生にチューターが学習や研究の手助け・日本事情、大学事情、研究室事情の理解の手助けを行います。チューター業務についての説明や注意点などの説明と共に、馬越教授よりチューター業務を通しての異文化交流の体験や自身のGlobal networkの拡大への繋がりについてもお話しされました。

ΣWeb-cam Welcome Party　2021年11月22日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により入国できていない2020年度の私費留学生含む2021年度新規留学生、計40名を対象にオンラインで歓迎会を開催しました。研究科長・研究副科長より歓迎メッセージがあり、在学留学生と日本人学生がピアノと歌のセッションで歓迎ムードを盛り上げてくれました。新規留学生と在学留学生がブレークアウトルームで自由に話をする時間を設け、渡日前の緊張や不安を和らげ、親睦を深めることできました。

English Cafeの開催　2021年12月8日

コロナ前は毎週水曜日に留学生相談室で対面で飲み物を持ち寄って留学生と日本人学生が英語で1時間自由に交流する「English Cafe」を開催していましたが、感染拡大予防の観点によりしばらく休止しておりました。

感染人数が減少したタイミングで実施しました。
参加者は留学生4名日本人8名、留学生ファシリテーターがtopicを提案し久しぶりの異文化交流に大変盛り上がりました。

ARIS MANAGERS | 担当教員の変更

岡部先生、本当にありがとうございました！

留学生相談室の主任教員がこの4月より変更になります。そのご尽力に馬越教授（室長）よりメッセージをいただきました。

「真面目で、柔和そうな先生だなあ～」2018年10月のΣ留学生相談室のスタッフミーティングでの第一印象です。その直感を裏切ることなく、3年半の長きにわたり、基礎工学部・基礎工学研究科の留学生・日本人学生のために、心のこもった相談業務をご担当頂きました。
一般的に、相談業務に従事する際、相談対象の学生さんは、「何かに困っていること」が多く、相手と一緒の立場に立って話を聴き、どうすればよいか一緒に考え、困ったことを一緒に解決することを繰り返していきます。実は、相談される教員サイドも、結構な体力・気力がなければ、なかなか続くものではありません。岡部先生は、これまで多くの留学生の人に対して親身になって相談して頂けました。先生の雰囲気も手伝って、救われた学生さんは多数います。特に、2020年に顕在化した、COVID-19。相談業務はStopした上に、行動制限により不安になる留学生が激増しました。岡部先生は、何とかできないか？と考えて頂き、留学生の皆さん、日本人学生の皆さんが、ネット上で、コミュニケーション可能な、Slack-on-Zoomシステムを構築して頂きました。結構、大変な労力が必要であったかと思います。
その延長で、ネット型留学生パーティ(Web-CamWelcomeParty)も企画運営頂きました。コロナも収束しつつありますが、岡部先生の努力の結果、Σ留学生相談室のチャンネルが、従来のon-site式から、ネットを最大限活用したon-line式に拡充して、新しいコミュニケーションの在り方として発展・拡充しています！これらは、岡部先生が持つ、「真面目で柔和な性格」と、ご専門でもある「数理情報スキル・能力」が、融合・結実したものと確信しています。本当にありがたく思います。
岡部先生は、2022年4月に准教授に昇任され、領域・コースの研究・教育活動により一層のチカラを注がれることになり、今年の9月をもって、Σ留学生相談室の諸業務から離れられ、森川先生にバトンタッチされます。困難な時期も含めて、4年もご一緒していたので、非常に寂しい限りですが、これればかりはどうしようもありません。
岡部先生、長きに渡り、Σ留学生相談室の運営にご尽力頂きましたこと、誠にありがとうございます。基礎工の留学生・学生、教職員を代表して、心からお礼申し上げます。今後、研究・教育分野により力を注がれて、さらに大きく飛躍されますことを心からお祈り申し上げます。

馬越　大

追伸:5年間、当方のダジャレにお付き合いいただきましたこともお礼申し上げます。いつもにこやに愛想笑いして頂きました！

A WORD FROM 岡部考宏先生 (システム創成専攻)
Prof.Takahiro OKABE

皆さん、こんにちは。
2018年秋から留学生相談室のスタッフの一員として活動してきて、ウェルカムパーティー、チューターミーティング、バスツアーなど皆さんと充実した時間を過ごすことができました。コロナ渦になり、様々な行動や活動が制限され変化を余儀なくされました。このような状況の中、留学生相談室では、従来のEnglish hour やJapanese hourについて、オンラインの形態を取り入れながら活動を行っています。時代や環境により変わっていくものもありますが、留学生と日本人学生一人一人の交流が大切なことに変わりはありません。留学生相談室が、皆さんのスマイルにあふれ、交流の場としてより充実した空間となることを祈っています。

Thank you for your dedication, Okabe-sensei!

The chief faculty member of ARIS changed this April. We received a message from Prof. Umakoshi (head of the room)to honor Okabe-sensei's efforts.

"What a serious and meek teacher", that was my first impression at the staff meeting of the Σ International Student Advising Room in October 2018. And as I expected, for three and a half years, Okabe-sensei was able to deliver a heartfelt advising service for international students and Japanese students of the Faculty of Engineering Science and Graduate School of Engineering Science. Generally, when engaging in adjusting work, the students often have "problems with something"and wish to talk about these problems with someone who can understand them. We will listen to the story, think about what to do together, and solve the problems together. In fact, the faculty members who advise are also not able to continue without sufficient physical strength and energy. Okabe-sensei has been kind enough to advise many international students. Many students were saved with the help of the Okabe sensei's aura. In particular, in 2020, during the surge of the COVID-19 pandemic.

Advising work was interrupted, and the number of international students who became anxious due to behavioral restrictions increased dramatically. Okabe sensei would always question "What we can do for students ?", then established "Slack-on-Zoom system" for the remote communication of International students and Japanese students. I think it took a lot of effort. As an extension of that, he also planned and operated an online student party (Web-Cam Welcome Party). Now, corona is also calming down, but as a result of Okabe sensei's efforts, the channel of the Σ International Student Advising Room has been expanded from the conventional "on-site type" to an "on-line type" that makes the most of the Internet, and a new way of communication. It is developing and expanding ! I am convinced that these are the result of the fusion and fruition of Okabe sensei's "serious and meek personality" and the wonderful knowledge in mathematical science, which is also his specialty.

Okabe sensei was promoted to an Associate Professor in April 2022, and will be able to devote more power to research and educational activities in his field and courses. So, all the advising work will be passed on to Morikawa-sensei from this year onwards. We've been working together for four years, difficult times, so I'm going to miss Okabe-sensei , but it cannot be helped.

Okabe sensei, thank you very much for your efforts in managing the ΣARIS for such a long time. On behalf of the international students, Japanese students, faculty and staff of our graduate school, I would like to express my sincere gratitude. I hope that you will achieve your goals in research and education fields and make a big leap forward to becoming successful in the future.

Hiroshi UMAKOSHI

PS:We would also like to thank you for being with us for four years. He would always smile and laugh at me for my “cool” dajare”!!.

OUR NEW ARIS NAGER

主任教員の紹介

A WORD FROM 森川耕輔先生(システム創成専攻)

Prof.Kosuke MORIKAWA

今年度から岡部先生に代わり主任となりました森川です。統計学を専門としています。半年間は岡部先生に教わりながら...という感じですが、皆さんを統計的に、精一杯サポートしていきますのでよろしくお願いします。

OUR COORDINATORS

ENGLISH/JAPANESE HOUR の コーディネーターの紹介

基礎工学部では留学生がアルバイトで日本人学生に英語を指導するENGLISH　HOUR、日本人
学生がアルバイトで留学生に日本語を指導するJAPANESE HOURいう活動をしています。
いずれも受講者は無料で週1回1時間参加することができます。
せっかく日本に留学したのだから、日本人と関わりながら日本語を習得したい！！

国際交流に関心はあるけれど、何から始めたらいいかわからない・・・
そんな前向きな学生さん達が始めは緊張しながらも、インストラクターと受講生という関係から友達になり毎週のセッションをとても楽しんでおられます。
そして、そんな活動を支え、ペアをマッチングしてくれるコーディネーターを紹介します！

JAPANESE COORDINATOR: KIKI

化学工学領域のM2のレイヴィンです。
おすすめのインドカレーは池田駅近くのインディゴです！
伊丹スカイパークで飛行機の音を聴くのが好きです。よろしくお願いします！

ENGLISH COORDINATOR: WARD

I'm Ward from Jordan and I am a member in Umakoshi Lab! I like traveling and learning new things about Japan! My hobby is cooking and exercising! My favorite place on campus is the international room (especially the sofa).

ENGLISH COORDINATOR: NAOMI

Hello! I’m Naomi, a Brazilian doctoral student in Nagai Lab! I like to spend my spare time drawing, singing, taking pictures and playing ukelele. I like to come by ARIS at least once a day to meet fellow international students and catch up with friends!

JAPANESE COORDINATOR: NATSUKI

齊藤夏樹です.
出口研のM2です．趣味は野球観戦や茶道です！
よろしくお願いします！

留学体験談

Japanese Hourのインストラクターやコーディネーターとして、留学生相談室で活躍してくれた岩松　秀弥さん。2021年から留学しているドイツから生の声を届けてくれました！

出過ぎた杭になるために

デュースブルク-エッセン大学（ドイツ）博士課程１年　岩松 秀弥

　初めて基礎工留学生相談室に入ったのは、その日、夏季モナシュ語学研修の説明会があったからだった。昔から海外には興味があり、学部２年生のときに研修に参加した。次は長期留学、と英語の勉強にも身が入るようになった。Japanese Hourにはその頃から参加していて、コーディネーターの仕事は学部4年生の冬から。留学生との交流が楽しくて、就職してもインターナショナルな環境で働きたいと思うようになった。大学院での研究留学も真剣に考えていた。そんな時にコロナが現れた。詳細は省くが、ドイツへの留学が決まったときは奇跡のようだった。留学したい人は、決して諦めず、あらゆる可能性と自分を信じて、語学の勉強と研究を続けて欲しい。

　ここからは特に、私がドイツに来て感じた海外留学の魅力と重要性を伝えたい。まず、日本がもはや先進国のトップではないことを見過ごしてはいけない。国際通貨基金の統計では、日本の一人当たりGDPは先進国40カ国中28位。日本人はもっと海外に出て多くを吸収し、得た経験を生かして少しずつ日本を変えていかなくちゃいけない。でないと誰ひとり取り残さない世界を実現するより先に、日本が世界から取り残される。日本が住みづらい国になって困るのは私たち日本人。既にたくさんの日本人が日本から離れていっている、皆んな日本が大好きなのに。

海外留学で得られる最大の経験は、日本を外から見ることだと思う。海外に住むことで改めて日本の文化や価値観を理解し、自然と政治に対しても関心が高くなる。基礎工の学生なら、「頭脳流出」が今日本で問題になっていることはよく知っているはず。これは日本が世界をリードするどころかついても行けず、誤った政策を行ってきたからだ、と今の私は思う。私はドイツの大学院に進学し、博士学生と研究に携わる中で研究環境の違いにとても驚いた。ドイツでの博士留学について紹介すると、まずドイツの公教育は大学院まで学費が無料で、さらに博士学生は誰でも研究員として雇ってもらえるためお給料が貰える。親からの仕送りも要らないし、研究で忙しいからお金はどんどん貯まる。有給は年30日あって自由に使えるから、ヨーロッパ旅行や日本への一時帰国に使える。さらに、ドイツでは博士号を持っている人にDr.と冠名をつけるくらい博士号の価値が認められていて、博士号を持っている人のほうがキャリアアップしやすい。そんな環境だから、世界中からたくさんの学生がドイツに留学しているし、博士課程に進む人も多い。

最後に、ドイツ（海外）に来て良かったなと思うのは、しっかりと自分の意見を持ち、主張できるようになったこと。ドイツには、「Das Rad, das am lautesten quietscht, bekommt das meiste Fett.」ということわざがある。直訳は「キーキーと音を立てる車輪は油を差してもらえる」で、はっきり自己主張すれば、きちんとその見返りを得るということ。アメリカやスペイン、中国、韓国にも似たことわざがあるが、日本にはない。日本は「出る杭は打たれる」社会で、才覚をあらわす者は憎まれ、妬まれ、非難される。「出過ぎた杭」になれば打たれないが、少し出ただけだとすぐ周りに叩かれる。だから、一度でもいいから海外に出てきてほしい。そこには出た杭を引っ張り上げてくれる環境がある。出過ぎた杭になれる。確かに言語の壁も文化・価値観の違いもあるから、生活も勉強も研究も、日本でするより何十倍も大変だと思う。でも、それだけ頑張る価値が海外留学にはある。だから私も、ドイツでキーキーと音を立てながら、出過ぎた杭を目指して頑張っていきたい。

STUDYING ABROAD: Be a stake that sticks too way out.

Shuya Iwamatsu, D1, University of Duisburg-Essen, Germany

The first time I walked into the Σ Advising Room for International Students in School/Graduate School of Engineering Science, Osaka University was the day for an information session about the summer language training program in Monash University. I had always been interested in foreign countries since my childhood and participated in the training program when I was a sophomore in undergraduate school. After that, I started participating in Japanese Hour and started working as a coordinator of the Japanese Hour and English Hour from the winter in my fourth year. I really enjoyed interacting with international students and realized that I wanted to work in a global environment when I started my career. I was also seriously considering studying abroad during my master's or doctor. That is when Corona appeared. I won't explain you with the details, but it was like a miracle when I was accepted to study abroad in Germany. I would like those who want to study overseas to never give up, believe in all possibilities and themselves, and continue learning the language and doing their research.

From here, I would like to especially convey the attractiveness and importance of studying abroad that I have felt since I came to Germany. First of all, one should not overlook that Japan is no longer the top developed country. According to the International Monetary Fund statistics, Japan's GDP per capita ranks 28th out of 40 developed countries. Therefore, Japanese people must go abroad more, absorb more, and make use of the experience gained to change Japan. Otherwise, Japan will be left behind before we can realize a world where we leave no one behind (LNOB). Japanese people are the ones who will suffer if Japan becomes a hard country to live in. Many Japanese are already leaving Japan, even though they love Japan the best.

The most significant experience Japanese students can get from studying abroad is to see Japan from the outside. By living abroad, they will gain a new understanding of Japanese culture and values, and you will naturally become more interested in politics. As a student in the Engineering Science department, you are well aware that "brain drain" is a problem in Japan today. I now believe that this is because Japan has not been able to keep up with, let alone lead, the world and has been implementing the wrong policies. I was shocked at the difference in the research environment when I entered a graduate school in Germany and engaged in research as a doctoral student. First of all, public education in Germany is tuition-free up to graduate school, and all doctoral students can be paid a salary because they are hired as researchers. I don't need to ask my parents for their financial support, and since I am busy with my research, I can save up a lot of money.

Furthermore, I have 30 days of paid holidays per year, which I can use freely to travel around Europe or temporarily return to Japan. Again, in Germany, the value of a Ph.D. is recognized to the extent that a Ph.D. holder is given the title of Dr., and it is easier for them to advance in their career. Because of this environment, many international students study in Germany, and many go to doctoral courses to earn a Ph.D.

Finally, what I am so glad about coming to Germany (abroad) is that I am now able to firmly hold my own opinions and claim them. There is a saying in Germany, "Das Rad, das am lautesten quietscht, bekommt das meiste Fett. The literal translation is " The squeaky wheel gets the grease." If you declare yourself clearly, you will get what you deserve in return. There are the same or similar proverbs in the U.S., Spain, China, and Korea, but not in Japan. Japan is a society where "the stake that sticks out gets hammered in." Those who show talent are hated, envied, and criticized. If you are "sticking too way out," you will not get hammered in. Still, if you are just a little out, you will be struck immediately by those around you. That is why I want Japanese students to go abroad, even if only once. There is an environment that will pull up the stakes. They can be the stake that sticks out the most. Indeed, there are language barriers and differences in culture and values, so living, studying, and researching are dozens of times more difficult for Japanese than they are in Japan. However, I believe that it is worth the effort to study abroad. That is why I, too, would like to work hard in Germany, making squeaky noises and aiming to be the stake that sticks way too out.

TOURISM IN JAPAN

Hi everyone! My name is Sy, and I am an American master's student in the Wada Laboratory. My research is in tracheal mechanics, and I hope to graduate this semester. In my free time, I enjoy drawing, video games, and traveling throughout Japan. Please tell me if you have any recommendations for where I should go next!

Most recommended place in Japan: If you have ever wanted to visit an onsen in the winter, I highly recommend 草津温泉 (Kusatsu Onsen)! This quaint-but-beautiful onsen town is located in Gunma Prefecture, about three hours from Tokyo. In addition to the many private onsen found in the town's ryokan, there are three incredible public onsen. My favorite was 西の河原露天風呂 (Sainokawara Open-Air Bath), which is one of the largest outdoor onsen in Japan and overlooks a mountain! You can also enjoy the 湯畑 (Yubatake), a "hot water farm" in the center of town that makes the whole town feel like a movie from Studio Ghibli. Relax, wear yukata, and enjoy the magical atmosphere in the snow.

Recommended days to stay: I was very relaxed after two days, but if you plan to ski at the nearby resort, I recommend you stay for longer!
Recommended food: In addition to the delicious food offered by each ryokan, there are many restaurants in town that offer food cooked in the onsen water. You can try *onsen boiled eggs* and other dishes!

<湯畑Yubatake

西の河原露天風呂>
(Sainokawara Open-Air Bath)

< 西の河原露天風呂
(Sainokawara Open-Air Bath

Yubatake湯畑>

大阪大学基礎工学研究科・基礎工学部　外国人留学生数 2022年5月1日現在

International Students in Engineering Science as of May 1st 2022

Students in Bachelor's Course | Students in Master's Course | Students in Doctoral Course | Researchers | Special Audit Students

Country	Total	Students in Bachelor's Course	Students in Master's Course	Students in Doctoral Course	Researchers	Special Audit Students
China	85	9	29	43	1	3
Indonesia	13	2	2	9	0	0
Korea	12	7	3	2	0	0
Thailand	12	3	2	4	0	3
Brazil	9	1	2	4	1	1
India	6	1	1	3	0	1
America	4	0	4	0	0	0
Sri Lanka	3	0	0	3	0	0
Tunisia	3	1	2	0	0	0
Nigeria	3	0	2	1	0	0
Pakistan	3	0	2	1	0	0
Iran	2	0	0	2	0	0
Ecuador	2	0	1	1	0	0
German	2	0	1	0	0	1
Turkey	2	0	1	1	0	0
Bangladesh	2	0	0	2	0	0
Viet Nam	2	1	0	0	0	1
Malaysia	2	0	0	1	1	0
Jordan	2	0	1	1	0	0
Hong Kong	2	0	0	2	0	0
Algeria	1	0	0	1	0	0
Israel	1	0	0	0	0	1
Italy	1	0	0	1	0	0
Ukraine	1	0	0	1	0	0
Egypt	1	0	1	0	0	0
El Salvador	1	1	0	0	0	0
Austria	1	0	0	0	0	1
Guatemala	1	0	0	1	0	0
Colombia	1	0	0	1	0	0
Syria	1	0	0	1	0	0
Singapore	1	0	1	0	0	0
Switzerland	1	0	0	1	0	0
Philippines	1	0	1	0	0	0
Finland	1	0	0	0	0	1
Burkina Faso	1	0	0	1	0	0
Peru	1	0	1	0	0	0
Myanmar	1	0	0	1	0	0
Mexico	1	0	1	0	0	0
Lebanon	1	0	0	1	0	0
United Kingdom	1	0	0	1	0	0
Taiwan	1	1	0	0	0	0